



令和3年8月27日(金) no.20 文責：上田

遊具にも注意喚起!

2学期がスタート 感染予防対策の徹底を

夏休み、子ども達は早寝・早起き・朝ごはん、手伝いなどが続けられたでしょうか。25日(水)のオンライン始業式では、夏休みにおばあちゃんの家泊りに行ったことや野球の練習を頑張ったこと、2学期に山西小児童会のスローガンを頑張りたいこと等の学年発表があり、子ども達の成長を感じました。

校長講話では、8月に入り村内でも多数のコロナ感染があり、今後も学校生活の中で感染防止策を続けなくてはならないことについて話しました。「リスク」という言葉には、「不確か」という意味もあり、不確かだから不安になることは当然で、手洗いや換気などの誰もが安全につながる行動を行えば安心な気持ちになることを伝えました。家庭でも『児童生徒・保護者の皆様へ～学校・家庭等における感染防止対策についてのお願い～』(村教育委員会25日配付)をよくお読みいただき、ご家族が具体的な対策を行動として子ども達にも示していただければと考えています。よろしくお願ひします。

さて、昨日26日(木)の新聞には「緊急事態宣言21都道府県に」「感染防止 悩む学びの場」「子ども関連施設で急増」などの見出しで20歳未満の新規感染者の急増が報じられています。熊本市立の小中学校や県立高校等では分散登校が実施されるなど、感染拡大は決して予断を許さない状況にあることは確かです。ご家族の中にも不安があると思います。

本校では、道徳や学級活動の時間などに『元気に過ごすために皆さんができること』(本校自作の感染対策資料)を使った学習を全学年で行っています。身近な人が感染した場合にも、感染は誰でも起こりうることであり回復を見守ることや感染を拡げないための行動などを子ども達と考える学習です。『保健便り(8月25日号)』でも内容の一部を紹介していますので是非お読みください。また、昨日配付の『新型コロナウイルス感染症の感染防止のための確認事項について』には、『児童生徒・保護者の皆様へ～学校・家庭等における感染防止対策についてのお願い～』(村教育委員会25日配付)を徹底するための確認事項をお知らせしています。こちらもご確認ください。

学校における感染拡大は、学校という安心・安全な子どもの居場所を脅かすことにつながります。学校と家庭、地域が連携しなくてはなりません。ご理解ご協力をお願いします。